

氏名	高 木 新
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 298 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和43年 6 月30日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学 位 論 文 題 目	トランスアミナーゼ (GOT, GPT) にかんする実験的および臨床的研究 第1報 肝障害における肝細胞内 GOT, GPT 活性の変動および血清 GPT/GOT 活性比の変動にかんする一考察 第2報 肝炎及び肝硬変患者血清の GOT, GPT に対する活性化乃至阻害作用について 第3報 ラットの血清および肝 GOT, GPT 活性に対する dexamethosone 投与および副腎摘出等の影響
論 文 審 査 委 員	教授 小坂 淳夫 教授 平 木 潔 教授 大 藤 真

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

各種肝障害時血清GPT/GOT活性比の変動する原因を追求する目的で、各種肝障害時血清にGOT, GPTにかんする Activator 乃至 Inhibitor の存在の有無、ならびに血清および肝 GOT, GPT 活性の相関関係について検討した。豚心筋および健康ヒト血清GOT, GPTについて肝炎および肝硬変患者血清は豚心筋GPTのみ活性化するが、健康ヒト血清も同レベルの作用を有し、かつ病態による変動もみられず、臨床的に有意の Activator 乃至 Inhibitor の存在は認められなかった。ラットを使用し Dexamethasone 投与および未投与時のCCl₄、急性肝障害、ならびに CCl₄、コリン欠乏食、3¹-Methyl-4-Dimethylaminoazobenzene による慢性肝障害時の血清および肝 GOT, GPT 活性の相関について検討し、血清GPT/GOT活性比の変動に際して、肝 GPT/GOT 活性比は血清に対し正比例的な変動を示した。肝炎および肝硬変患者の血清および肝 GPT/GOT 活性比の関係もラットの肝障害におけるほぼ同様の傾向を示し、肝障害時血清 GPT/GOT 活性比の変動については、肝 GOT, GPT 活性の変動が重要な関係を有していることを推定した。

(昭和43年 8 月 「肝臓」第 9 巻 4 号に掲載予定)

論文審査の結果の要旨

本研究はトランスアミナーゼにかんして実験的および臨床的に研究したもので、血清 GOT, GPT 活性値の変動、その活性阻害ないし活性促進物質に関する検討を行ない、本酵素の診断上に占める意義を明らかにしたもので重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。